

2023年12月17日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第37号(通算3369号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひとと共におられる
ことを証していく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



だい れいはい
第3アドヴェント礼拝
たいこうせつ だい しゅじつ れいはい
(待降節 第3主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前 奏 黙 禱 AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 19編 8-9節

さんびか ばん しゅ ま のぞ せつ
賛美歌 21-242番「主を待ち望むアドヴェント」(1-3節) (©JASRAC)

てんとう
クランツ点灯のことば

さんびか ばん ひさ ま きょうだんさんびかかいていいんかい
賛美歌 21-231番「久しく待ちにし」(©教団讚美歌改訂委員会)

せいしよ しょ しょう せつ
聖 書 マラキ書 3章 19-24節

いの
お 祈り

さんびか ばん あす
賛美歌 21-244番「キリストは明日おいでになる」(©JASRAC)

みこう う うちだ ただし ぼくし
メッセージ「御子が生まれるところ」 牛田 匡 牧師

さんびか ばん のぼ ぎ たいよう きょうだんさんびかかいていいんかい
賛美歌 21-410番「昇れよ、義の太陽」(©教団讚美歌改訂委員会)

しゅ いの ばん てん ちち さんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うちだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

う そう ばん きょうだんさんびかかいていいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう
報 告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は受付にある献金箱にお入れください。

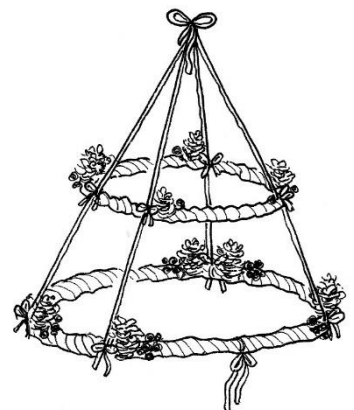
- 8 主の律法は完全で、魂を生き返らせ
主の定めはまことで、無知な者を賢くする。
- 9 主の諭しはまっすぐで、心を喜ばせ
主の戒めは純粹で、目を光り輝かせる。

クランツ点灯のことば

神様、今私たちは3本目のろうそくをともしました。あと1本でクリスマスです。クリスマスには、イエス様によって暗闇に光が与えられました。その光と喜びを、みんなで分かち合ってくださいように。

聖書 マラキ書 3章 19-24節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- 19 その日が来る／かまどのように燃える日が。
傲慢な者、悪を行う者は／すべてわらになる。
到来するその日は彼らを焼き尽くし
根も枝も残さない——万軍の主は言われる。
- 20 しかし、わが名を畏れるあなたがたには／義の太陽が昇る。
その翼には癒やしがある。
あなたがたは牛舎の子牛のように／躍り出て跳ね回る。
- 21 私が事を行うその日に／あなたがたは悪しき者たちを踏みつける。
彼らはあなたがたの足の裏で灰になる
——万軍の主は言われる。
- 22 わが僕モーセの律法を思い起こせ。
それは、私がホレブで全イスラエルのために
彼に命じておいた掟と法である。
- 23 大いなる恐るべき主の日が来る前に
私は預言者エリヤをあなたがたに遣わす。
- 24 彼は父の心を子らに／子らの心を父に向けさせる。
私が来て、この地を打ち
滅ぼし尽くすことがないように。



《先週のメッセージより》12月10日 第2アドヴェント礼拝

「どう読む聖書？」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 5章36-40節

むかし私は、信仰を持つということは、聖書の言葉や出来事をそのまま無批判に受け入れ信じることとと思っていた。聖書の話をも素直に受け取ることができなかった私には、何のために聖書を読むのか、どう聖書を読んだらいいのか全く分かっていなかった。しかしある時、私の先輩が言った。「イエスの生き方はロックンロールだ」。イエスは、社会の底辺の人々と共に生き、彼らのために、彼らとともにこの不誠実な世の中を変えようとした。彼のその行いや教えが、社会の体制を維持していく側にとって目障りで危険なものであったために、イエスは反逆者という濡れ衣を着せられて捕らえられ、殺されたのだ。大事なことは、イエスが奇跡を起こしたかどうかではなく、イエスがどう生きたか、何と闘っていたのか、命を献げてまで、私たちに何を伝えようとしていたのかなのだと。

福音書においても、キリストは御自分がなさった癒しの業について、誰にも話さないよう強く口止めをしておられる。奇跡ばかりに目を奪われると、キリストが私たちの間に降って来られた本当の意味が見えなくなるからだ。私たちは、例えばキリストが手のなえた人を真ん中に立たせたとか、子どもを抱き上げた、徴税人や罪人と共に食事をした、誰それに目を留め、声を掛けられた、などなど、挙げ始めるときりがないほどの、キリストの何気ない愛のしぐさにこそ目を向けていくべきであり、またキリストが様々な場面で語られた一つ一つの言葉にこそ、耳を傾けていくべきなのだ。キリストは「父が私に成し遂げるようにお与えになった業、つまり、私が行っている業そのものが、父が私をお遣わしになったことを証ししている(36)」と言う。奇跡物語のような人目を引く業だけを、神がキリストにお与えになったわけではない。それだけがキリストのなされた業ではない。日常におけるキリストの、何気ないものに見える一つ一つのしぐさやさりげない言葉こそが、神がキリストにお与えになった業なのだ。

クリスマスの前にして、私たちは改めて聖書をどう読んだらいいのかというところから考え直したい。キリストをめぐる華々しい情景ではなく、ひっそりとした本当のクリスマスの情景からその意味、すなわち私たちに対する神からの隠されたメッセージを見出し、そのような中で生まれたキリスト・イエスの日常を見つめ、その姿に従っていくことによって、キリストの言われる「自分の内に父のお言葉をとどめ」る者とされたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (12月10日) 第2アドヴェント礼拝

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継視聴者数6回 感謝

◎次週 2023年12月24日(日) クリスマス礼拝(降誕日礼拝)

招きの詞 詩編 113編 1-9節

聖書 ルカによる福音書 1章 1-20節

メッセージ 「夜通し働くあなたへ」水谷憲牧師

賛美歌 21-242、21-267、21-252、21-258、21-524

クリスマスを待ち望む「待降節(アドヴェント)」に入り、毎週の礼拝の中で一本ずつ火が灯されて来たアドヴェント・クランツの全てのろうそくに火が灯ります。



◎お知らせ

- ・本日礼拝後14時~15時にかけて、教会学校の「キッズ・クリスマス」を行います。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれ方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は、休会です。釜ヶ崎・いこい食堂では毎年12月のクリスマスには、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当をお配りしています。今年も日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を、明日に作ってお届けする予定です。
- ・2024年2月26日(月)~29日(木)3泊4日で「第13回大阪教区『続開・奄美研修旅行』」が久しぶりに再開されます(主催:大阪教区沖縄交流連帯特別委員会)。この研修旅行は日本基督教団と沖縄キリスト教団との「合同のとらえなおし」の論議から示されている宣教の課題を共に担うために大阪教区において継続して行われて来たものです。今回の研修旅行の目的は、九州教区奄美地区の宣教の歴史、奄美の歴史と文化を学ぶこと、平和をつくりだすための働きを強めていくことで、事前に3回の学習会があります。参加費は7万円です。申込〆切は12月25日(月)、第1回事前学習会は12月26日(火)20時からでオンライン参加も可能です。研修旅行当日に参加されない方でも、事前学習会のみ参加も歓迎いたします。申し込みやお問い合わせは、沖縄交流・連帯特別委員会の老田さん(大阪聖和教会)まで、ご連絡ください。電話/FAX06-6777-5439

メール osaka_seiwa_church@yahoo.co.jp

(右のQRコードも同じ)



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/24	水谷牧師	クリスマス礼拝・愛餐会 (おにぎり支援はありません)
12/31	牛田牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式
1/7	水谷牧師	新年礼拝・考える会
1/14	牛田牧師	おにぎり支援

